

市長公約に関する これまでの取組について

戦略①
産業振興

雇用と所得につながる
力強い産業をおこすまちづくり

戦略②
広域連携

広域連携を積極的に推進するまち

戦略③
医療・福祉

笑顔あふれる安心・安全なまち

戦略④
教育・文化

心豊かに学び、地域文化を育むまち

戦略⑤
生活・環境

安全で快適に暮らせるまち

スタンス

『もっと身近な、もっと熱い、
もっと分かり易い』市政運営

平成29年11月
鹿屋市

戦略① 産業振興

雇用と所得につながる 力強い産業をおこすまち

公約1

かのや農業・農村戦略ビジョンを策定し、食料供給基地としての農業都市かのやの再生に取り組みます。

かのや農業・農村戦略ビジョンの策定

- ▶ 農業都市かのやの再生へ向けて、雇用と所得の増大、農村社会の活性化を図るため、各種方策を盛り込んだビジョンを策定（H27.2）

かのや食・農商社の取組

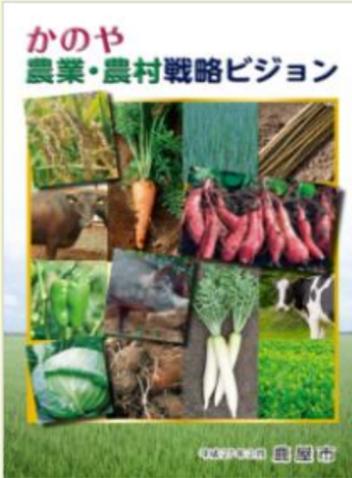
- ▶ 卸・小売業者等からの要望を共有し対応するための事業者間のネットワークを構築（H28～）
- ▶ バイヤー等を招聘し個別商談会を開催（H28:11回）
- ▶ 機能性にんじん「こいくれない」の産地化（H27～）

「かのや紅はるか」・「かのや深蒸し茶」の産地化・銘柄確立

- ▶ G-GAPの取得農家 2件（お茶農家）
- ▶ 「かのや紅はるか」出荷額 3倍増（H25⇒H28）

肝属中部地区畑地かんがい施設の整備

- ▶ 荒瀬ダム、貯水タンク、パイプライン整備などの大規模な畑地かんがい事業を実施
 - ・ H28末から一部通水開始、H38から全面通水予定（1,537ha）



新規就農者の確保・育成

- ▶ 給付金の給付による就農研修の実施
 - ・ 研修生4人が独立就農（H28,29）

農業まつりのリニューアル

- ▶ 会場を霧島ヶ丘公園へ変更（H27～）
- ▶ 肉焼まつり、軽トラ市などを実施し、H28は、2日間の開催で35,000人が来場

畜産生産基盤・経営環境の強化

- ▶ 第11回全国和牛能力共進会において、第9区（去勢肥育牛）での農林水産大臣賞の受賞をはじめ、鹿屋市からの出品牛7頭が上位入賞し、鹿児島黒牛の日本一奪還に貢献（H29）

- ▶ 施設整備や品質向上に必要な省力機械の導入等（畜産クラスター事業）を行う畜産経営体を支援（H27～）



全国和牛能力共進会

- ▶ 肉用繁殖牛の増頭体制の整備
 - ・ 牛舎整備17棟（H26～28）
- ▶ 肥育・繁殖素牛の導入支援
 - ・ 441戸、1,955頭（H26～28）
- ▶ 優良血統雌牛の改良促進
 - ・ 297戸、390頭（H26～28）

公約2

家畜の防疫体制の確立に取り組むとともに、環境にやさしい循環型畜産の振興に取り組みます。

家畜防疫体制の強化

- ▶ PED（豚流行性下痢）のまん延防止対策
 - ・ 市内主要道路における消毒帯の設置
 - ・ 養豚全農家への消石灰配布（H26:194農場）
- ▶ オーエスキー病の清浄化対策
 - ・ ワクチン接種への助成（H28、14農家7,460頭）
- ▶ 初動防疫に必要な資材（消毒薬・液、防疫服等）の備蓄 など



消毒帯の設置



畜舎の臭気測定

畜産環境対策

- ▶ 消臭効果のある資材を培養し畜産農家へ無償配布（H26～）
- ▶ 地域環境に配慮したウィンドレス豚舎の整備（H26～、8棟）
- ▶ 市職員、巡回パトロール員による巡視指導



ウィンドレス豚舎整備

公約3

森林の再生や森林資源を活用するとともに、錦江湾の豊かな自然・空間の活用策を検討するなど、林業・水産業振興に取り組みます。

市有林の適切な管理・特用林産物の振興

- ▶ 市有林の間伐 13.3ha (H28)
- ▶ 特用林産物シキミ新植 (H28)



カンパチつかみ取り

かのやカンパチの産地化・銘柄確立

- ▶ つかみ取りイベントを都市部で開催 (H27~)
- ▶ 「カンパチ漬け弁当」の全国への商品展開 (H28~)

公約4

地元中小企業を対象に、販路開拓を目的に市が試験的な発注を行う「トライアル発注制度」を導入します。

「かのやトライアル発注制度」の創設

- ▶ 市内の中小企業者が開発した製品等の信頼性及び知名度の向上等を図るため、市が試験的に発注する制度を創設 (H26.7)

- ・10製品 (H26~28)



ばらピンバッジ

公約5

太陽光、小水力、バイオマス(木質、家畜排せつ物等)を活用し、再生可能エネルギーのまちづくりを推進します。

太陽光を活用した再生可能エネルギーのまちづくり

- ▶ 太陽光発電設備の設置
 - ・平和公園屋内練習場
 - ・輝北ふれあいセンター
 - など7箇所設置 (H26~29)
- ▶ 避難所への避難経路の安全を確保するため、太陽光発電街路灯を設置 (5箇所)



公約6

空き店舗の活用など地元商店街の取組を支援するとともに、市街地の賑わいを創出するため、リナシティの利活用に積極的に取り組みます。

市民協働ショップ KITADA SARUGGA

- ▶ 女性や若者の視点を生かした市民協働ショップをオープン (H28.1)



KITADA SARUGGA

賑わい創出に向けた取組

- ▶ 「街のにぎわいづくり協議会」への支援
 - ・リナフェスタ、ぶらり京町横丁等の実施
- ▶ リナシティまるごと博物館の開催 (H29)

公約7

東九州自動車道や大隅加工技術研究センターの整備を踏まえて、食品加工など企業の立地促進に努めます。

立地企業への支援促進

- ▶ 立地協定の締結・新規雇用の増
 - ・H26 立地協定 3件 (3社)、新規雇用 22人
 - ・H27 立地協定 3件 (3社)、新規雇用 15人
 - ・H28 立地協定 8件 (7社)、新規雇用 28人
 - ・H29 立地協定 1件 (1社)、新規雇用 84人 (予定)



ジェーエフフーズとの立地協定調印式 (H27.2)

県大隅加工技術研究センターの活用による地域6次産業化商品の開発

- ▶ 県大隅加工技術研究センターの活用
 - ・市内事業者の利用件数：延べ 41社 124件 (H27,28)
- ▶ 開発商品の各種コンクール受賞
 - ・花岡胡椒
 - ・あしたのおやつ
 - ・玄米珈琲 など



県大隅加工技術研究センター H27.4オープン

公約1

鹿屋、大隅の観光・スポーツ・食を通じた体験型広域観光を推進します。

大隅広域観光協会（仮称） の設立に向けた取組

- ▶ 大隅広域観光コーディネーターの採用（H28～）
- ▶ 「おおすみ観光未来会議」の発足（H28～）
- ▶ 体験型プログラム「大隅手帖」の実施
・40プログラムに245人が参加（H28～）
- ▶ 大手旅行会社と広域でのツアーを企画し、岡山や大分から観光客を誘致（H29、約1,800人）



山開き



小山市との連携協定

かのやばら大使による連携

- ▶ かのやばら大使である「C&K」の野外ライブ開催をきっかけに、栃木県小山市との連携協定を締結（H29）

グリーン・ツーリズムの推進

- ▶ 農家民宿の新規開業 4軒（H28）
- ▶ 修学旅行生の受入 22校、1,471人（H26～29.9）

登山・トレッキングの推進

- ▶ トレイルランニング大会の開催（H27～）
- ▶ 御岳、吾平中岳の登山道、駐車場等を整備（H26～28）



トレイルランニング大会

食資源等の魅力発信

- ▶ 地元食材を提供する飲食店の観光ツアー受入開始（H28～）
- ▶ 九州初となる「全国丼サミット inかのや2016」の開催（H28）
・来場者数 35,000人
・販売食数 22,000食



修学旅行生の受入



全国丼サミット inかのや2016

公約2

大隅の観光スポットである、かのやばら園を含む霧島ヶ丘公園の周年活用に向けた新たなビジョンづくりに取り組みます。

霧島ヶ丘公園の有効活用

- ▶ 民間活力による有効活用事業者を決定（H27）
・かのやBBQ園、チャリカフェ
・おおすみ観光案内所
・コンテナを活用した店舗群の設置 など
- ▶ 霧島ヶ丘公園基本計画の策定（H28）
・ピクニック広場の眺望確保
・サイクリングコースの整備
・駐車場やトイレの新設 など



100万本のコスモス迷路



サイクリングコースの整備(H29.3完成)



チャリカフェ(H28.7オープン)



ツール・ド・おおすみ



かのやばら祭り



C&K 野外ライブ



農業祭り・肉焼まつり

公約3

鹿屋、大隅の優れた食材や加工品などを大隅ブランドとして確立し、販路開拓を支援します。

かのやブランドの推進

- ▶ かのやブランドの認証
・21商品、11事業者（H26～28）
- ▶ 都市圏等でのマルシェの開催による鹿屋製品のPR、販売（H26～、11回）



かのやブランド認証品

大隅「食」の新定番土産

- ▶ 食の宝庫である大隅半島自慢の“おいしいもの”を集め、県内外の多くの人に味わってほしい新定番のお土産品を認定（H26,27）



おすすめ「食」の新定番土産



かのや豚ばら丼のPR

- ▶ 全国丼グランプリ豚丼部門金賞受賞（H27、H28）
- ▶ 「かのや豚ばら丼」を市内10店舗で提供
- ▶ 「かのや豚ばら丼弁当」の全国への商品展開（H28～）



かのやメンバーズクラブの創設

- ▶ 鹿屋市の取組を支援・応援することでポイントがたまる「かのやメンバーズクラブ」の創設
・会員数 5,809人（H29.10末）

ふるさと納税制度を活用した地元製品のPR

- ▶ ふるさと納税の返礼品登録数 75業者、371品（H29.9末）
- ▶ ふるさと納税の実績（延べ人数）
・39,532人（H27）、69,262人（H28）

公約4

鹿屋、大隅の女性や若者と夢を語り、夢の実現を目指す「大隅サミット会議」を開催します。

「本気で語ろう会」の開催

- ▶ 女性や若者と本気で語ろう会を開催（H26～）
・子育てサロン参加者、
・茶業青年の会、転勤奥様、
・鹿屋っ子クラブ など



高校生議会の実施

- ▶ 高校生と行政が一緒になって、市の現状や未来を考える機会として開催（県内初、H28,29）

日本版DMO準備組織「おすすめ観光未来会議」を設立

- ▶ おすすめ観光未来会議
・会員数 105団体



おすすめ観光未来会議

広域連携を積極的に推進したその他の取組

広域連携による産科医確保対策

- ▶ 大隅4市5町保健医療推進協議会の取組により、市内の医療機関に新たに2人の産科医が着任（H28）

消費生活相談の広域連携

- ▶ 域内の消費生活相談を鹿屋市消費生活センターに一本化（H28.4）
（鹿屋市、東串良町、錦江町、南大隅町）



消費生活センター

公約1

中学生までの医療費無償化、保育料等の負担軽減、児童クラブの拡充、ファミリーサポート会員の増大など、安心して子どもを産み育てられる制度・環境を充実します。

子どもの医療費を無償化

- ▶ 医療費無償化を中学生までに拡充 (H26～)
 - ・ H28の助成額 3億7,400万円

保育料の負担軽減

- ▶ 所得区分を細分化するなど市独自の軽減措置等を実施
 - ・ 約2億7,000万円 (H28)



桜ヶ丘住宅の整備イメージ

桜ヶ丘子育て支援住宅の整備

- ▶ 民間学童施設等を併設し、安心して子育てできる環境を整備
 - ・ 40戸 (H30.3供用開始予定)



子育て世代支援センター

子育て世代支援センターの設置

- ▶ 保健相談センター内に支援センターを設置 (H28)
 - ・ 相談内容に応じた支援プランを作成 1,123件 (H28)

放課後児童クラブの充実

- ▶ 21クラブ 882人 (H25)
 - ⇒ 26クラブ 1,112人 (H28)

支え愛ファミリー住宅改修応援事業

- ▶ 子育て世帯、三世帯同居世帯の住宅改修に対する助成制度を拡充 (H28～)

特定不妊治療への一部助成

- ▶ 男性の特定不妊治療を対象とする制度を追加 (H28～)

新生児聴覚検査の助成

- ▶ 聴覚障害児の早期発見・早期支援へつなげ、音声言語発達等の二次的障害を最小限に抑える (H29～)

就学援助費の認定基準の緩和

- ▶ 給食費、学用品等の援助対象者を拡大
 - ・ 1,983人 (H28) ⇒ 2,020人 (H29)

公約2

産科医の確保や救急医療体制の充実・強化などを図るため、医療機関と行政との連携強化に努めます。

地域包括ケアの推進

- ▶ 基幹型地域包括支援センターと9つのサブセンターを設置し、高齢者の支援体制を強化 (H28～)



包括支援センターの運営を医師会に委託し、在宅医療・介護の連携や認知症施策の推進に取り組んでいます



徘徊模擬訓練
認知症高齢者への対応や行方不明者の捜索のための訓練を実施



オレンジカフェ
認知症による介護の悩みなどを気軽に語り合える場

医師確保事業・助産師奨学資金貸与事業の実施

- ▶ 大隅4市5町保健医療推進協議会の設立 (H26)
- ▶ 市内の医療機関に新たに2人の産科医が着任 (H28)
- ▶ 大隅地域助産師奨学資金貸与事業を開始 (H28～)



認知症サポートワーカー



大隅4市5町保健医療推進協議会

夜間・休日の救急医療体制の確保

- ▶ 医師会と連携し、在宅当番・日祝救急医療、夜間救急当番医、歯科休日診療を実施
- ▶ 大隅広域夜間急病センターによる夜間救急医療体制の確保

公約3

セミナーや研修会などを通じ、介護人材の育成、増員を推進します。

介護従事者がやりがいを持てる環境づくりの推進

- ▶ 介護支援専門員（ケアマネージャー）研修会の開催
 - ・研修会参加者 171事業所、232人（H28）
- ▶ 国の制度を活用した介護ロボット等ICT導入支援（H28）
 - ・介護職員の負担を軽減するための装着型介護ロボット等の導入 3事業所
 - ・不審者の侵入を未然に防ぐための防犯システムなどICT導入 5事業所



介護サービス事業所研修会

市介護保険事業の状況や事業計画、介護保険を取り巻く情報など、適切なサービスの提供に必要な研修



装着型介護ロボット



介護支援専門員研修会

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築、事例研究、地域資源の紹介など、利用者の状態に応じた適切なサービスの提供に必要な研修

公約4

健康予防、定期検診、食生活改善、健康運動推進などを通じて、子どもからお年寄りまで、健康で明るい社会を目指す「市民健康づくり条例」を制定します。

健康づくりに関する新しい取組の実施

- ▶ 鹿屋市健康づくり条例の制定（H28）
 - ・生活習慣病予防、栄養（食）、運動などの健康づくりの取組により、市民の主体的な健康づくりを推進
- ▶ からだにスイッチかのやん朝ごはん事業（H28～）
 - ・簡単に作れる朝ごはんレシピの開発
 - ・出前講座等による普及啓発
- ▶ 若けもん元気度アップ・ポイント事業（H29～）
 - ・健康講座等への参加により、商品等に交換できるポイントを付与

がん検診等の充実

- ▶ 30歳代健診の充実
 - ・30歳代健康きつぷ事業（H27～）
 - ・受診者数 93人（H26）⇒ 216人（H28）
- ▶ 40歳がん検診無料化（H28～）
 - ・受診者数 274人（H27）⇒ 456人（H28）



「朝ごはん」の調理実習



健康診査

ドライブサロン事業の取組

- ▶ 無料バスによる買物支援を6地区で実施
 - ・花岡、高隈、大始良、串良、花里・根木原、飯隈・南地区



ドライブサロン



戦略④ 教育・文化

心豊かに学び、地域文化を育むまち

公約1

海上自衛隊鹿屋航空基地史料館や輝北天球館など地域の資源を観光や教育の観点から積極的に活用します。

戦争遺跡の保存・活用

- ▶ 平和学習ガイド・戦争遺跡調査員14人の新規認定（H27）
・平和学習ガイドの案内人数：7,366人（H27～29.8）
- ▶ 史料館と連携した「戦後70年特別企画展」の開催（H27）
- ▶ 戦跡周遊ルートの整備（H27,28）



平和学習ガイドによる
修学旅行生の案内



串良基地跡の地下壕
第一電信室



川東掩体壕

神野中岳・4滝トレッキングコースの活用

- ▶ 仮設トイレや登山道の整備を行い、トレッキングツアーの受入を実施



おしどりの滝

輝北天球館・うわば公園の施設活用

- ▶ バンガロー・反射望遠鏡、天文ドームの改修工事（H26～28）
- ▶ うわば公園を活用した婚活イベントの実施（H27～）



輝北天球館

公約2

スポーツ・文化施設の利活用の促進を図るとともに、施設のリニューアルについては、総合的な観点から検討します。

市内スポーツ関係施設の整備

- ▶ 鹿屋市スポーツ関係施設再配置計画策定（H26.9）
- ▶ 平和公園屋内練習場・屋内投球練習場整備（H27）
- ▶ 鹿屋市中央公園弓道場大規模改修（H27）
- ▶ 高隈艇庫整備（H28～29）
- ▶ 串良野球場改修（H29）

各種スポーツ大会の開催

- ▶ くしら桜祭りジョギング大会、ボールゲームフェスタ、Vサマーリーグ、吉田沙保里選手による「夢教室」など



Vプレミアリーグ

国民文化祭で9つの事業を実施

- ▶ ミュージカル「花いくさ」等を開催
・市内外から約6万5千人が来場



ミュージカル「花いくさ」

市民が文化活動で活躍できる場の提供、文化振興

- ▶ 市役所ロビーコンサートの開催（H28～）
- ▶ ヒメとヒコ10周年記念公演（H28）
- ▶ リナシティまるごと博物館の開催（H29）



平和公園
屋内練習場



市役所ロビーコンサート



ヒメとヒコ

公約3

鹿屋体育大学との連携をさらに強化し、市民との交流を促進するとともに、世界に通用するアスリートの育成に努めます。

スポーツ合宿まちづくりの推進

- ▶ かのやスポーツコミッションの設立 (H28)
 - ・スポーツ合宿受入実績が県下1位
- ▶ 東京オリパラ事前合宿専門委員会の設置 (H29)



バレーボール交流事業



韓国高校野球の合宿

鹿屋体育大学との連携

- ▶ 鹿屋体育大学見学ツアーの実施 (H28～)
- ▶ 小中学校の授業への学生を派遣 (H28～)
- ▶ スポーツパフォーマンス研究棟 (H27完成) の活用



スポーツパフォーマンス研究棟



体育大学見学ツアー

ホームタウンスポーツの推進

- ▶ 「CIEL BLEU鹿屋」結成 (H28.2)
- ▶ 自転車普及イベントの開催 (H27～)



かのやサイクルフェスティバル



「CIEL BLEU鹿屋」

鹿児島国体に向けた取組

- ▶ 鹿屋市アスリート育成プランの策定 (H26)
- ▶ 国体準備室の設置 (H28)
- ▶ 燃ゆる感動かごしま国体鹿屋市実行委員会の設立 (H29.8)
- ▶ 鹿屋市で開催される競技が正式決定 (H29)
 - ・ボート (全種目)、バレーボール (成年女子)、自転車ロード・レース (肝属地区での広域開催)

公約4

IT技術や語学力の向上など、時代や企業が求める人材育成に努めます。

アプリ開発人材の育成

- ▶ 地元高校生を対象としたロボットアプリ開発講座の実施 (受講生の1人が市内就職)
- ▶ IT企業1社が市内に立地し事業活動開始 (H28)

鹿屋寺子屋事業

- ▶ H28 大始良、花岡地区で事業開始
- ▶ H29 高隈、串良、吾平、東地区で事業開始

平和教育の推進

- ▶ かのや未来創造プログラム「平和の花束」の実施 (H26～)
 - ・九州管内の小中高校生から2,474点のメッセージ応募 (H29)



平和の花束

英語教育の充実・強化

- ▶ 教育課程特例校指定による小学1年生からの英語教育を市内全域で実施 (県内で鹿屋市のみ)
- ▶ イングリッシュキャンプの実施 (H28～)
- ▶ 中学生英語暗唱弁論大会の優秀者を海外研修へ派遣 (H26～)

鹿屋女子高活性化

- ▶ 女子高活性化基本方針の策定 (H28)
- ▶ 地域人材を活用したキャリア教育の実施 (H29～)
- ▶ ICT機器 (電子黒板) を活用した授業実施 (H29～)



中学生英語暗唱弁論大会



小学校での英語教育

公約1

過疎高齢化が著しい地域について、ボランティアやIT等も活用し、安全で安心な地域づくりに取り組みます。

小さな拠点モデル事業

- ▶ 輝北キラキラ館による買物弱者への宅配や独居老人の安否確認、憩いの場の創出などを実施（H27～）



輝北キラキラ館

防災・行政・地域情報伝達システムの整備

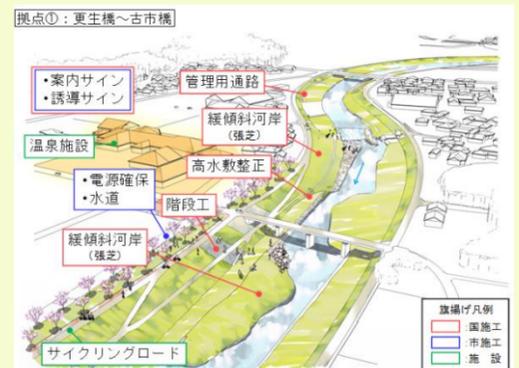
- ▶ 防災行政無線個別受信機の設置（28,200台）
- ▶ 緊急告知FMラジオの設置（2,164台）

情報インフラの整備

- ▶ 未整備区域8地域に光ブロードバンドを整備し、H31までに市内全域に整備完了予定（H29～）
- ▶ 公衆無線LAN（Wi-Fi）環境整備（H28～）
 - ・市役所ロビー、拠点避難所 など
- ▶ スマートフォンアプリの導入（H29）（H30から供用開始）

吾平地区かわまちづくり

- ▶ 国土交通省の「かわまちづくり」の認定（H29.3）を受け、サイクリングロード上の3つの水辺拠点の整備を実施予定



公約2

雨水・排水対策や交通安全対策など市民生活を支えるインフラ整備や、東九州自動車道、国道504号線などの企業活動を支えるインフラ整備に取り組みます。

雨水・排水対策の推進

- ▶ 鹿屋市総合雨水排水対策事業計画の策定（H26.8）
- ▶ 市内の冠水箇所が減少（58箇所 ⇒ 49箇所）



排水対策の実施

高規格幹線道路及び主要道路の整備促進

- ▶ 東九州自動車道（鹿屋串良JCT）、大隅縦貫道（串良鹿屋道路）等の供用開始（H26.12）
- ▶ 大隅縦貫道吾平道路の事業着手（H27.4）



東九州自動車道（鹿屋串良JCT）等の開通

交通安全対策

- ▶ 寿小周辺にゾーン30の設置（H26）
- ▶ 鹿屋小周辺にレーン30の設置（H28）
- ▶ 小学校周辺の路側帯や横断歩道のカラー化（H26～）



ゾーン30の設置



横断歩道のカラー化

公共交通対策

- ▶ 串良地区くるりんバスの運行開始（H27.11～）
- ▶ リナシティかのやバス待合所を移設（H29.9）
- ▶ かのや市乗合タクシー（天神・船間地区）の実証運行を開始（H29.10）



かのや市乗合タクシー



リナシティかのやバス待合所

公約3

消防団員の確保や防災工事の推進など、防災・減災対策に取り組みます。

防災訓練、自主防災組織の育成・強化

- ▶ 土砂災害警戒区域を有する地域での避難訓練
・ 図上訓練及び避難訓練 12回 (H28)
- ▶ 鹿屋市地域防災計画の見直し (毎年)



避難訓練



危険空き家

消防団の活性化、消防防災体制の充実

- ▶ 鹿屋市消防団の幹部研修、教養訓練
- ▶ 安全装備品の配備、消防車の更新
- ▶ 女性消防隊「ローズ隊」の結成 (H28.7)



市消防操法大会



消防自動車入魂式

危険空き家の適正管理

- ▶ 危険空き家解体撤去工事補助事業の創設 (H26)
・ 補助事業による解体件数：141件 (H26～28)
- ▶ 危険空き家等に対する助言・指導・勧告・命令：229件 (H26～28)



女性消防隊「ローズ隊」

公約4

町内会活動の充実やNPO等が行うコミュニティビジネスなどの取組を推進します。

町内会活動支援の充実・強化

- ▶ 町内会活力推進交付金、放送施設等撤去事業補助金の新設 (H27)



高須駅100周年記念式典



ウォーキング大会
(永野田町)

移住・定住対策の推進

- ▶ 空き家バンク制度の創設 (H27)
・ 定住相談員の配置
・ 居住体験住宅「吾楽暮」の活用
- ▶ 定住相談による移住者数
・ 30世帯 74人 (H27～)



居住体験住宅「吾楽暮(あいらいく)」



地域コミュニティ協議会による地域活性化

- ▶ 吾平・高隈の2地区においてコミュニティ協議会が発足

美里吾平コミュニティ協議会の取組



吾平郷中教育



ちびっこのりだー
夏合宿in神野小学校

高隈地区コミュニティ協議会の取組



谷田滝散策ツアー



山菜弁当の提供

公約1

約束した政策をスピード感をもって実施するための「政策推進課」を設置します。

市長公室の設置

- ▶ 政策推進課
 - ・ 市政の方針、重要施策の総合調整など
- ▶ 地域活力推進課
 - ・ 地域の振興に関する企画立案など

副市長2人制の導入

- ▶ 戦略的かつスピーディーな政策課題への対応

公約2

市政推進の活力と多様な人材の確保を図り、熱い市政を目指し、「民間経験者の採用」や「女性職員の登用」に努めます。

民間経験者の採用

- ▶ 15人を新規採用 (H27~29)

女性職員の登用

- ▶ 管理監督職への登用

職員の相互交流

- ▶ 国・県や民間へ職員を派遣：30人 (H26~29)
- ▶ 外部から職員を受入：10人 (H26~29)

地域おこし協力隊

- ▶ 12人が着任 (H26~)
 - ・ 退任後3人が定住



隊員によるカンパチ解体ショー

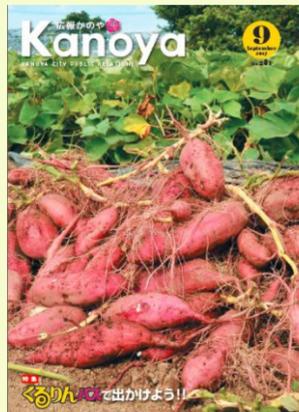
公約3

明確な政策目標の設定や進行管理の徹底により、効率的な業務遂行を目指すとともに、「市民・職員の企画提案制度」を積極的に活用します。

市民の声直行便の創設

市政モニター制度の導入

市民のひろば欄の開始



- ▶ 市民からの提案を施策へ反映
 - ・ 市役所でコピーサービスを開始
 - ・ 本庁、支所のWi-Fi導入 など

職員提案・職員表彰制度

- ▶ 広く職員の提案を募集

若手職員意見交換会の立ち上げ

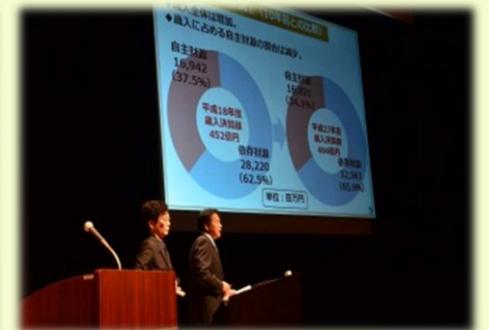
- ▶ 若手職員の意見交換会において、市街地活性化や子育て支援に関する政策提言をとりまとめた (H29)

公約4

市長の公約について、達成度を評価する「市長公約評価制度」を導入します。

市政報告会の開催

- ▶ リナシティかのや (H28.11、参加者：380人)
- ▶ 百引校区公民館 (H29.1、参加者：65人)
- ▶ 串良ふれあいセンター (H29.2、参加者：98人)
- ▶ 吾平総合支所大会議室 (H29.2、参加者：103人)



公約5 それぞれの地域、団体等と本音で鹿屋の未来を語り合い、政策に生かす「本気で語ろう会」を開催し、その内容についてはオープンにします。

「本気で語ろう会」の開催

- ▶ 延べ40団体614人の参加 (H26～29.9)
- ▶ 語ろう会での意見を施策に反映
 - ・子育て世代支援センター
 - ・横断歩道カラー化 など



本気で語ろう会

高校生議会の実施 (県内初の取組)

- ▶ 市内6校から38人参加 (H28,29)



高校生議会

公約7 合併10年を目前に、地域が主体的に地域振興、活性化に取り組めるよう検討します。

地域における活性化への取組

- ▶ 輝北キラキラ館での小さな拠点モデル事業の実施 (H27～)
- ▶ 美里吾平コミュニティ協議会の設置 (H26～)
- ▶ 高隈地区コミュニティ協議会の設置 (H27～)



輝北キラキラ館

組織体制の整備

- ▶ 市長公室地域活力推進課、各総合支所に住民サービス課を設置

公約9 政策目標の設定・検証

鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略 鹿屋市人口ビジョンの策定

- ▶ 地方創生関連交付金事業の活用
- ▶ 有識者委員会の開催
- ▶ KPI (重要業績評価指標) の設定による事業遂行

各部の課題・懸案事項の進捗管理

- ▶ 部長会での重点施策の進捗報告による情報共有

公約6 公民連携による廃校・旧庁舎など、公有財産の有効活用に積極的に取り組みます。

学校跡地の利活用

- ▶ 神野小学校 交流拠点施設整備 (H27～29)
- ▶ 平南小学校 さつま芋出荷場 (H28～)
- ▶ 高尾小学校 キクラゲ栽培施設 (H29～)
- ▶ 菅原小学校 観光交流施設 (H30.3開設予定)

市有財産の有効活用

- ▶ 輝北総合支所の空きスペースに、百引郵便局を移転 (H28.3)
- ▶ 吾平鉄道資料館跡に基幹型包括支援センターを設置 (H28.4)



輝北総合支所

公約8 持続可能で健全な行財政の確立

行財政改革の確実な実施

- ▶ ふるさと納税の推進
 - ・ 22.8億円 (H26～H28)
 - ・ H26 : 0.26億円 ⇒ H28 : 14億円
- ▶ 基金残高の増加
 - ・ H26 : 134億円 ⇒ H28 : 151億円
- ▶ 市税収入の確保
 - ・ 民間金融機関と連携した収納率の向上対策
- ▶ 職員の定員適正化
 - ・ H26 : 811人 ⇒ H29 : 788人
- ▶ 広域連携の推進
 - ・ 消費生活相談共同処理、災害対策研究
- ▶ 公民連携の推進
 - ・ 桜ヶ丘市営住宅の建て替えにおいてPFIによる公民連携として民間収益施設を導入



桜ヶ丘住宅の整備イメージ